

Weekly Bulletin

2013-2014



RI会長
ロンD.パートン



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

静岡東ロータリークラブ

会長/高柳正雄 幹事/高田雅司

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
高柳正雄



第 2644 回例会

平成 25 年 11 月 21 日 天候 晴

《司 会》 高田雅司 君

《合 唱》 「手に手つないで」

《BGM》 「おめでとう皆出席」

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

結婚記念日

11月24日 久野義彦 君

11月27日 土山博英 君

11月24日 高柳正雄 君

11月24日 鈴木洋一 君

《会長挨拶要旨》



今日はボジョレヌーボーの解禁日ですが、敢えてその話はいたしません。少しヘソを曲げて、紅葉の話をしてみます。

11月は旧暦で言うと「仲冬」にあたり、冬のど真ん中ということになります。しかし新暦ではむしろ秋まっさかり、京都などではいまが紅葉の見ごろでしょうか。

紅葉といえば紅葉狩り。紅葉狩りはなぜ「見る」でなく「狩る」なのか。平安時代には実際に紅葉した木の枝を手折り(狩り)手のひらにのせて鑑賞したことによるようです。

では紅葉(コウヨウ)と紅葉(モミジ)は同じ字を書きますがその違いは何か。「紅葉(コウヨウ)」は落葉樹が冬に備えて紅や黄色に色が変わった状態の総称で、黄葉も含んだ広い意味を持ちます。一方「紅葉(モミジ)」はひとときわ紅色の目立つカエデの仲間の総称で、更には言えばカエデの中でも赤ちゃんの掌のような形の赤い葉を「モミジ」と呼びます。

ですから「紅葉狩り」というのは、紅葉も黄葉も混じった広い意味の紅葉(コウヨウ)を眺め、その中にカ

エデの仲間である紅葉(モミジ)を見つけ、さらに真紅の掌みたいなモミジを見つけて感激する行為に他なりません。『源氏物語』の中にもあでやかな紅葉狩りのシーンが登場しますから、古くから日本人はこの醍醐味を味わっていたのでしょう。

ちなみに植物分類上ではモミジもカエデも「カエデ」で、ともにカエデ科のカエデ属に属します。モミジという科や属はありません。カナダの国旗に描かれているカエデは形状的にはモミジかも知れませんがモミジとは言わない、日本語のこだわりがそこにあります。

紅葉もその後は落葉になります。落葉とは寒い季節に、葉を付けていて得られるエネルギーよりも葉を付けているのに要するエネルギーの方が多くかかるのを避ける現象です。翌年新たに葉を生み出すには労力が要りますが、そのための労力を差し引いても、今ある葉を一旦処分してしまう方が良いとする行為です。葉を人と置き換えると何とも切ない、自然界の摂理です。

さて京都の紅葉といえば嵐山が有名ですが、私が10年ほど関西に住んだ経験から言うと、京都御所も捨てがたいと思っています。嵐山と違って平面的な紅葉で銀杏が中心ですから紅葉というより黄葉ですが、落葉の始まった頃が一つの見ごろで、地面全体が絨毯のようになって黄色く輝きます。私の住んだ30年以上前の時点では、丁度いまごろ、勤労感謝の日あたりが毎年のもっとも適日でした。温暖化で今はどうなっているのか保証の限りではありませんが、一度チャレンジされる価値はあると思います。

《会員卓話》

「日本公認会計士協会東海会静岡県会

副会長に就任して」



浅野裕史 君

皆さんこんにちは。1ヶ月1回会報をまとめさせていただくことによって、卓話力が鍛えている「はず」の会報グループ浅野です。

今年度になって4回ほど、会報の原稿を作成させて頂きましたが、例会の終わった直後からボイスレコーダーを繰り返し、繰り返し聴きながら卓話原稿を作成していくと、お話された内容が頭に刷り込まれていくような感覚になりました。会報が皆さんの手に渡るころには、細かいところは忘れてしまうのですが、話の骨子は今でも頭の中に残っています。

私、今年の7月1日から日本公認会計士協会東海会静岡県会の副会長に就任いたしました。

また、10月1日より東京実務補習所静岡支所運営委員会委員長に就任いたしました。今後は3年間の副会長経験後、静岡県会会長を3年間、正副で合計6年間務める予定となりました。自分の所属する業界の団体である日本公認会計士協会の活動や30年前に受験した会計士試験制度や実務補習制度も、だいぶ変わってしまったことを、個人的に改めて確認しましたのでその一端をお話させて頂こうと思います。

先週の金曜日に平成25年度の公認会計士試験の合格発表がありました。お手元のコピーした資料の1枚目にありますように、合格者数は1,178人で対前年比169人減少しています。合格率は8.9%ということで昨年の7.5%から1.4%も上昇していますが、願書提出者が17,894人から13,224人に激減しています。この理由については後ほどお話いたします。2ページ目に合格者の概要が出ています。先週の金曜日から今週にかけて、大手監査法人を中心に採用活動を開始し始めていますが、合格者の減少とともに各法人が俄然採用数を増やしています。今年は圧倒的な売り手市場になっています。

2006年は1,372人の合格者数であったのが、2007年には2,695人と倍増させ2008年には史上最高の3,024人の大量合格者になっているのがわかると思います。これは、短期的には2007年から上場企業の内部統制監査制度がされたことと、長期的には2018年までに5万人程度にしたいという金融庁の思惑がありました。しかし、内部統制監査制度が導入された後に、監査報酬が期待通り上がらなかったことや、2008年9月から始まるリーマンショックによって、新規株式上場が一気に冷え込んだことによって、大手監査法人を中心とした採用数が極端に減少してしまいました。

試験に合格しても就職できない「就職浪人」が大量に発生する問題が生じてしまいました。会計士協会も就職斡旋に乗り出すなどしたため、昨年あたりで概ねこの問題はやっと終息したようですが、すっかり目指す資格として人気を失ってしまい2010年には25,147人に達した受験者数は、先ほどお話したように今年は13,224人になってしまいました。

実はもっと大きな業界の課題が今月末から来月にかけて、ヤマ場を迎えようとしています。税理士会が求める税理士法改正問題です。税理士会がもめているものは、税理士業務を行う場合、会計士等が現在は税理士登録を行うことによって、自動的に可能になっている税理士業務について、少なくとも1科目の税法試験の合格を求めるものです。これを一定の能力担保措置と言っています。これに対抗して会計士側は、税理士登録は不要だと主張しています。

現在の試験制度ですが、まず年2回の短答式試験があります。短答式に合格すると2年間有効で、論文式試験を受験することができます。有効期間が過ぎるとまた短答試験からはじめなければなりません。会計専門大学院を卒業すると、企業法以外の短答式試験は免除されます。論文式試験は現在は5科目です。先週の発表はこの論文試験の合格者の発表で、この状態では公認会計士試験合格者と呼ばれます。その後、業務補助等の実務経験を2年を行い、同時に3年間の実務補習を受講し、実務補習の修了試験に合格して公認会計士に登録されることになります。

実務補習に関しては、先ほど申し上げたように10月1日より東京実務補習所静岡支所運営委員会委員長に就任いたしました。先週合格した試験合格者のなかで、静岡県内の監査法人や企業に就職した人を受け入れることになります。今年は12月19日に、ここアソシアで入所式を行います。

最後に、現在日本公認会計士協会東海会静岡県会の副会長として私が何をしているかについてお話したいと思います。静岡県会には会員273名、準会員72名合計345名が所属しています。今のところは懇親会の出席等が主とした業務ですが、いきなり県会の懇親ゴルフコンペで優勝してしまいました。その他12月2日に忘年会が企画されています。県会レベルでは研修会の実行と懇親が主たる業務となっています。

会計士になって30年たち、静岡に移ってきて23年経ちました。これから、まだ転動することも可能性としてはあります。6年予定の会計士協会静岡県会の活動はその時点で、即終了となりますが、静岡県内の業界の発展に少しでも寄与していきたいと思っています。

《スマイル報告》

高柳 正雄 君 結婚記念のお祝い、ありがとうございます。39回目です。来年は40周年で何か考えます。

細川 俊彦 君 結婚記念日のお花ありがとうございます。妻が大変喜んでフェイスブックにアップしていました。感謝を込めてスマイルします。

久野 義彦 君 誕生日プレゼントありがとうございます。一日一日を大切に過ごしたいと思います。

土山 博英 君 誕生日のプレゼントありがとうございます。

富井 一矢 君 月一スマイルです。皆様もよろしく願いいたします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
11/21	57(55)	43	12	-	-	-
11/14	57(55)	45	10	-	-	-
11/7	57(55)	45	10	4	6	89.09%